

市町名	沼津市
-----	-----

学校支援地域本部	
放課後子ども教室	○
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
その他（通学合宿等）	

実施年度	H27	○
	H28	○



大きな粘土で遊ぶ子ども達

活動名	1トンの粘土で遊ぼう
実施箇所名	大岡小学校
活動の概要・特徴 活動上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度に夏休み期間中の特別子ども教室として、約1トンの水粘土で遊ぶ貴重な体験をしてもらうイベントを開催した。子ども達からの多くの好評を受け、平成28年度も続けて開催することとなった。自由に思い切り遊び、子ども達の想像力と創造力を養うことが目的である。 ・1トンの水粘土は静岡県立美術館から借用しており、借用から返却までを地域の方々によって行われている。 ・地域のイベントに多く携わっている企業にも協力をお願いしており、地域ボランティアだけでなく企業も巻き込む形となった。 ・保護者も一緒に参加できるようにしたことで、保護者同士や保護者と地域の方々との交流の場ともなった。
活動の成果	<p>普段では体験できないような貴重な体験を行い、子ども達の想像力と創造力を共に養うことができた。H27では大きな山を作るだけだったが、H28では山を倒し大きな船を作った、等子ども達が作成する物に変化が表れていた。</p> <p>また、地域の方々・保護者・企業が交流をすることで、子ども教室以外でも地域が活性化していき、地域のイベントの参加等積極的になった。</p>
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の体育館を会場にしたため、汚さないように一面にブルーシートを敷く必要がある。 ・夏に行ったため水分補給を促したが、粘土遊びで手が汚れている、遊びに夢中になっている等により思うようにいかなかった。
備考 (ボランティア数、参加した子どもの数等)	<p>参加数 子ども50人・保護者23人・ボランティア12人</p>

市町名	伊東市
-----	-----

学校支援地域本部	
放課後子ども教室	○
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
その他（通学合宿等）	

実施年度	H27	
	H28	○



活動名	放課後子ども教室（にんじんクラブ）
実施箇所名	伊東市立旭小学校
活動の概要・特徴 活動上の工夫	<p>「音読」のテーマでは全8回により実施している。 子どもたちに「わーい」、「おーい」、「くやしい」などの言葉を発しさせ、同じ言葉でも言い方で聞こえ方が違うことを理解させるほか、ただ読むだけではなく気持ちを表すことが大事であることを伝えている。 また、詩や物語を題材にした音読を学ぶことで、表現の楽しさを感じてもらえるよう取り組んでいる。</p>
活動の成果	<p>口の開け方や大きな声の出し方を覚えることで、朗読の方法や表現の楽しさを覚えることができた。</p>
課題等	<p>児童の都合等のため、毎回、全児童が参加できないことから児童により進捗状況に違いが出てしまう。</p>
備考 (ボランティア数、参加した子どもの数等)	小学生約30人

市町名	富士市
-----	-----

学校支援地域本部	
放課後子ども教室	○
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
その他（通学合宿等）	

実施年度	H27	
	H28	○



季節の歌を集中して聴く児童

活動名	地域の人と歌を歌おう♪
実施箇所名	富士第一小学校 体育館
活動の概要・特徴 活動上の工夫	<p>年間を通してスポーツ教室や工作教室、体験教室を取り入れ、自主グループなどの各種団体とも連携しながら実施している。今回は、まちづくりセンターで活動しているコーラスグループに来ていただいた。前半は季節の歌を鑑賞し、後半は顔の体操や手遊び、「かえるの歌」の輪唱、最後に「さんぽ」「365日の紙飛行機」を歌った。歌を通して交流が進み、子どもから「今度はいつ来るんですか?」といった質問も出ていた。</p> <p>今回の自主グループにボランティアとしての協力依頼をするのは初めての試みであるため、不安が軽減できるよう事前の打合せを重ねた。また、活動時に出向き、講師だけではなく参加するメンバーの方にも子どもたちの様子を伝えた。メンバーの方が子どもたちの中に入って一緒に歌う案もあったが、メンバーの中には足腰の不自由な人もいるため、転倒などの事故が無いようイスを使用し、子どもたちの前方に弓上にまとまって座っていただいた。</p>
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・自主グループとして特に発表会があったり、施設に訪問して披露したりしていないため、練習の成果を堅苦しくなく楽しみながら発表できる機会になった。 ・まちづくりセンターの業務のひとつに「放課後子ども教室」があることをセンター利用者に知っていただけた。 ・休憩中に子どもからメンバーに話しかける場面があった。地域の人と子どもたちとの交流の機会となった。
課題等	会場は体育館で、冬は暖房がなく寒い。今回は12月実施だが、メンバーの方は高齢の方が多いので、体への負担を考え、来年度は、春～初夏実施に変更する。
備考 (ボランティア数、参加した子どもの数等)	6月に第1回を実施し、2月まで計10回の活動を予定している。対象学年は小学校1～3年生。今回の参加児童は94名。コーラスグループの参加ボランティアは、講師2名を含め25名。そのほか教室運営のボランティア3名。

市町名	御殿場市
-----	------

学校支援地域本部	
放課後子ども教室	○
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
その他（通学合宿等）	

実施年度	H27	○
	H28	○



勉強後、読み聞かせに集中する児童

活動名	玉穂っ子チャレンジ教室
実施箇所名	御殿場市役所玉穂支所
活動の概要・特徴 活動上の工夫	<p>〈活動の経緯〉 他小学校での教室を参考に、玉穂小学校との協議のうえ、平成26年度より玉穂小学校3年生を対象として、小学校近くの玉穂支所にて実施している。</p> <p>〈活動内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30分の勉強補助（宿題やプリント学習） ・読書や読み聞かせ（御殿場に関する伝承や昔話も題材として扱うことで、郷土に対する興味・関心付けを図っている。） ・鉛筆の持ち方の指導 ・息抜きとして折り紙等 <p>〈その他〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が会場に到着した際に手洗いうがいを徹底し、習慣化させることで、自宅等でも自発的に行えるよう促している。 ・和室という環境を用いて、短い時間ではあるが正座での勉強を教えることで、集中力の向上や、正しい姿勢を身につけさせることを図っている。
活動の成果	<p>放課後子ども教室に参加した児童の保護者を対象にアンケートを行い、以下のような声が挙がった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿題へスムーズに取り掛かるようになった。 ・先生方と触れ合うことで笑顔で帰宅してきた。 ・違うクラスの友達ができた。 ・褒められることで、宿題や勉強に丁寧に取り組むようになった。 ・読み聞かせをきっかけに、本の趣味が広がった。 ・子どもが、人の話を以前よりよく聞くようになった。 ・玉穂っ子チャレンジ教室のおかげで、夜の親子の会話が増えた。 ・3年生以外の学年でも実施してほしい。等々…。 <p>アンケートの回答内容を確認すると、参加した児童が良い方向へと成長していったことがわかり、保護者からの評価も高いことが確認できた。</p>
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校に余裕教室がないので、支所の和室を利用しているが、小学校から少し離れているので、3年部の教員に交代で引率していただいている。 ・会場の容量や指導者の人数の関係で児童の定員を20名としているが、年々希望者が増え、今年度は応募者が31名となり、止むを得ず抽選を行った。
備考 (ボランティア数、参加した子どもの数等)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動推進員2名、教育活動サポーター1名、放課後子ども教室のコーディネーター2名(不定期)、参加児童20名 ・御殿場市では8学校で9教室の放課後子ども教室事業を行っており、他の教室との調整のため、玉穂っ子チャレンジ教室は基本火曜日(年間26回程度)に実施している。

市町名	松崎町
-----	-----

学校支援地域本部	
放課後子ども教室	○
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
その他（通学合宿等）	

実施年度	H27	○
	H28	○



泥だんごに色を付ける児童

活動名	光る泥だんごづくり
実施箇所名	伊豆の長八美術館
活動の概要・特徴 活動上の工夫	<p>松崎町の郷土品である「光る泥だんご」を自分たちの手で作り、ものづくりの楽しさを感じるとともに、伝統・文化に触れ地域への愛着を育むことを目的として年1回実施。</p> <p>講師には町内の美術館職員を招き、安全管理員として地域の児童育成に理解のある方々へ依頼し、児童への指導や活動のフォローを行ってもらう。</p>
活動の成果	自分の住む町の伝統や文化への理解と、講師や安全管理員等の地域住民との交流が深まり、郷土への愛着を育むことができた。
課題等	年々参加児童数が減っており、現在では定員20名に対し約1/2の児童が参加している。参加者の確保が今後の課題としてあげられる。
備考 (ボランティア数、参加した子どもの数等)	参加児童数11名に対し、講師2名、安全管理員1名、児童館職員1名で実施している。

市町名	清水町
-----	-----

学校支援地域本部	
放課後子ども教室	○
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
その他（通学合宿等）	

実施年度	H27	
	H28	○



もっと高く！タネの模型とばし

活動名	チャレンジキッズ教室・放課後児童教室合同「ものづくり教室」
実施箇所名	清水小学校・南小学校・西小学校
活動の概要・特徴 活動上の工夫	国が示す「放課後子ども総合プラン」に基づき、全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験活動を行うことができる地域における子どもの居場所づくりの推進を図ることを目的として、放課後子ども教室（チャレンジキッズ教室）と放課後児童教室（放課後児童クラブ）を連携事業として、合同で「ものづくり教室」を実施した。教室内容は、小学校の元校長が講師となり、身近な材料を使って植物のラワンの種の模型を作成した。上手く飛ばしてくるくると回転しながら落ちるようにするには、どんな工夫をすればよいか考えた。
活動の成果	放課後子ども教室（チャレンジキッズ教室）と放課後児童教室（放課後児童クラブ）を連携実施することで、希望する全ての就学児童が安全、安心な場所で放課後を過ごす機会を提供できた。連携事業として今年度、試行的に3小学校で1回ずつ合同実施をしたが、来年度以降は実施回数を増やし、より一層連携していく。
課題等	連携実施することで、参加者児童が1箇所80人～90人となるため、講師となる教育活動推進委員や教育サポーターなどの人材の確保が急務となる。
備考 (ボランティア数、参加した子どもの数等)	

市町名	長泉町
-----	-----

学校支援地域本部	
放課後子ども教室	○
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
その他（通学合宿等）	

実施年度	H27	○
	H28	○



町内小学校グラウンドでの「自由遊び」

活動名	長泉町放課後子ども教室「のびのびスマイル」
実施箇所名	長泉小学校・南小学校・北小学校
活動の概要・特徴 活動上の工夫	<p>子どもたちが放課後に学年の違う子と自由に遊んだり、地域の人々と交流したりする機会を意図的・継続的に設けることで、人とかかわる力や自分の考えを伝える力などを育むことを目的とする。</p> <p>各小学校（3校）において、毎週水曜日の放課後に子どもたちが安全に遊べるよう、コーティネーターを配置し、地域のボランティアと一緒に遊んだり、見守りをしたりする。</p> <p>各小学校に2箇所ずつ設置されている児童会の生徒も、「のびスマ」実施日である水曜日は、グラウンド（雨天は体育館）で共に遊ぶ一体型の形を取っている。</p> <p>また、敢えてプログラムを設けず、子ども達が自由に遊ぶことを大切にしている。</p>
活動の成果	<p>「自由遊び」の中で、遊びの工夫、異学年児童との交流、そして、見守ったり遊びを教えてくれたりするボランティアの方との交流を図ることができている。また、遊びの中で、規範意識や我慢することを学ぶ体験ができている。</p>
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアスタッフの高齢化に伴う数の減少。 ・児童会職員とボランティアの指導の意識の差。
備考 (ボランティア数、参加した子どもの数等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録数（長小29, 南小39, 北小28:計96名）（ただし、登録はしているが、実際の活動が無い方あり） ・のびスマ登録児童数（長小116, 南小118, 北小104:計338名）（実際は、登録児童数に、児童会の児童も参加している）

市町名	小山町
-----	-----

学校支援地域本部	
放課後子ども教室	○
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
その他（通学合宿等）	

実施年度	H27	
	H28	○



将棋の対局中に指導を受けている児童

活動名	放課後子ども教室“すばしり”将棋教室
実施箇所名	小山町立須走小学校多目的ホール
活動の概要・特徴 活動上の工夫	<p>日本古来の知的ゲームである「将棋」を通して、駒の配置を頭に描く頭脳の訓練と集中力を身に付け、対局の作法を学ぶことによって礼儀作法を身に付けることを目的として、将棋教室を3年以上の児童を対象に年間33回実施している。（学校のある日の木曜日に実施）</p> <p>指導者は、地域在住の日本将棋連盟指導員の肩書を持つ方と元教員の2名によって指導している。受講者は、5月開講時で17名であった。</p> <p>活動の工夫では、①3時から教室は開けるようにして、教室開始の4時までは宿題をやるようにしていること、②大盤を用いて戦法や詰将棋を全体指導している。③子ども同士の対局を組み、対戦カードで勝敗をつける。④11月ごろにアンケートを取り、年度内で改善できることは改善するようにしている。そのほか、火曜日：高学年英会話教室、水曜日：3～6年学習教室、金曜日：中学年英会話教室を実施している。</p>
活動の成果	<p>12月初旬に実施したアンケートでは、「宿題をがんばってやった」⇒100%、「将棋の面白さや楽しさを感じるようになりましたか」⇒100%という回答を得ている。保護者からも「兄弟で家でやっている。挨拶もきちんとできるようになった。『お休みして』と言うと、怒って行きたがるぐらいになっている」というコメントをいただいている。</p>
課題等	<p>放課後児童クラブとの連携をもっと行い、放課後児童クラブの子が教室の時間帯だけでも参加できるようにしたい。（今の所、1・2名程度しか参加していない。放課後児童クラブはクラブで1日の予定があり、それを崩すのに躊躇しているようである。）</p>
備考 (ボランティア数、参加した子どもの数等)	<p>ボランティア0名、指導者2名、管理人1名、参加児童数（5月の開講時で）17名。（他の教室と合わせると総計53名）</p>

市町名	島田市
-----	-----

学校支援地域本部	
放課後子ども教室	○
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
その他（通学合宿等）	

実施年度	H27	○
	H28	○



シャボン玉遊び

活動名	初倉放課後子ども教室「フレンズクラブ」
実施箇所名	初倉南小学校
活動の概要・特徴 活動上の工夫	<p>初倉地区の3つの小学校、初倉小、初倉南小、湯日小の児童を対象に定員を30人としている。屋内外での自由活動・自主学習を中心に、調理教室、陶芸教室、スポーツ活動などを、長期休暇を除く毎週水曜日の3時半から5時半に、年間で20回程度実施。</p> <p>初倉南小学校の空き教室を主な活動の場とし、そのほか体育館や運動場、図工室などを利用している。</p> <p>スタッフはボランティアを含めて15名程度で運営している。スタッフも大多数は初倉地区の方が占める。</p> <p>また、グラウンドゴルフの実施の際は地域の老人クラブの方の協力を得て実施した。</p> <p>運営上では、学校の駐車場を十分に使用できない際に近隣の茶工場の敷地を利用させていただけるよう協力依頼をしている。</p> <p>このように、地域の大人と子どもが関わりを深め、地域全体で子どもを見守る体制を推進している。</p>
活動の成果	<p>昨年度アンケートでは、半数以上の保護者が「フレンズクラブに参加して子どもの様子が変わった」と回答している。人見知りがなくなった、大人との接し方が上手くなった、ありがとうと言えるようになった等の変化が見られたとのこと。他の学年、他の小学校、また大人との触れあいによるものと考える。</p>
課題等	<p>スタッフが高齢化、固定化しており、活動内容も固定化されてしまう。また、初倉地区でのみ実施しており、島田市全域で見ると実施校が少ない。</p>
備考 (ボランティア数、参加した子どもの数等)	<p>平成28年度参加児童数：30人（初倉小3人、初倉南小26人、湯日小1人）</p> <p>内訳：1年生12人、2年生7人、3年生6人、4年生4人、5年生1人</p>

市町名	焼津市
-----	-----

学校支援地域本部	
放課後子ども教室	○
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
その他（通学合宿等）	

実施年度	H27	○
	H28	○



自由遊びの様子

活動名	大富ふれあい広場
実施箇所名	大富公民館
活動の概要・特徴 活動上の工夫	放課後や週末等に子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境をつくることを目的として、平成22年度より実施。大富公民館「ふれあいホール」に安全管理員1名を配置し、特別なプログラムは設定せず、地域の子どもの安心・安全な居場所、自由な遊び場として運営している。子ども達は将棋やオセロ、折り紙などで遊んだり、みんなで宿題をやったりと自由な時間を過ごしている。また本の読み聞かせ（隔週土曜日）なども開催している。
活動の成果	子供にとって、安心して遊べる場を放課後の居場所を確保し、様々な遊びの機会を提示することができた。 また、子供同士、保護者同士が集まることによって、交流する場を提供することができた。
課題等	今後、放課後児童クラブとどのように連携していくか検討する必要がある。また、設置遊具が老朽化しているが買い替えなどの目途は立っていない。利用者数が少なく、小学校等への告知方法も検討の余地がある。
備考 (ボランティア数、参加した子どもの数等)	平成27年度 開催日数 293日 利用者数 2,380人（うち小学生 912人）

市町名	掛川市
-----	-----

学校支援地域本部	
放課後子ども教室	○
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
その他（通学合宿等）	

実施年度	H27	
	H28	○



運動遊び体験（輪投げ）

活動名	大浜学園放課後こども教室
実施箇所名	大坂小学校、千浜小学校
活動の概要・特徴 活動上の工夫	<p>学童保育と希望児童が参加できる一体型の放課後こども教室を実施している。平日の放課後に月1回、小学校の体育館を利用している。指導講師は、地域住民によるボランティア（シニアクラブやおたいらの会）にお願いしている。内容は輪投げ、方言カルタ、すごろく、風船遊び、トッヅボール、綱引きなどである。</p> <p>中学校区内に地域代表と学校関係者で組織した「子ども育成支援協議会（大浜学園）」が運営母体となって活動しており、掛川市が目指す学童保育と放課後子ども教室が一体となって行う放課後教育支援「はぐくらぶ構想」の実現に向けてモデル地区としての実践である。</p> <p>平日の放課後以外の実践では、夏休みの平日午前中に2週間程度、地域内の体育施設を使って学習支援や読み聞かせ、運動遊びなどの内容で夏休み子ども教室を行っている。（夏休み子ども教室は、平成27度から実施。）</p>
活動の成果	<p>参加した子どもたちは、総じて楽しく活動していた。学童保育からの参加者も好評であった。回数を重ねるうちに、学童保育指導員も積極的に関わってくれるようになり、運営がスムーズになってきた。保護者からは、月1回ではなく、もっとやって欲しいという要望が出ている。</p>
課題等	<p>スタッフの力量や利用施設の状況などが影響する。地域コーディネーターの負担が大きく、放課後子ども教室専門で一役ほしい。放課後子ども教室の運営に学校がどこまで関わるのがよいのか検討が必要である。</p>
備考 (ボランティア数、参加した子どもの数等)	<p>常時10数名のボランティアで運営している。参加児童は日によって違いがあり、約40～70名程度である。開催準備や当日の運営は2～3名で進めている。</p>

市町名	藤枝市
-----	-----

学校支援地域本部	
放課後子ども教室	○
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
その他（通学合宿等）	

実施年度	H27	
	H28	○



今のはアウト？セーフ？

活動名	児童クラブの子等と遊ぼう
実施箇所名	西益津小学校校庭
活動の概要・特徴 活動上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・通常は、放課後子ども教室のスタッフが、学校まで子どもを迎えに行き、公民館まで集団で移動し教室を開催している。 ・児童クラブ、放課後子ども教室の区別なく希望する全ての児童を対象とし、共通のプログラムを実施しより多様な体験、魅力ある活動を展開することにより放課後の時間を安心・安全に過ごすため、年1回合同開催している。 ・安全管理上、放課後、学校の体育館・運動場などの施設を利用し、子ども教室のスタッフが出向いて児童クラブの職員とともに子ども達の活動を見守る。今年は、ドッチボール、紙飛行機飛ばしを実践した。活動推進委員の話では、児童クラブの本拠地（学校）と子ども教室の本拠地（公民館）が離れているので、子ども達がまだ学校にいる間に一緒に活動するのが今のところの最善策という。集団移動時の安全には大変気をを使うので、まずは出来るところから徐々に活動範囲を広めていきたいという。
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・共に広い場所で沢山の子どもが一堂に集まり、異学年の子も混じって力いっぱい活動することができた。特に上級生の子が下級生を上手にリードするなど仲間意識が図られたことは、お互いに同じ地域に育つ子としてよりよい人間関係作りに大いに役立っていたと思う。 ・児童クラブの指導者と意思疎通がより図られ、お互いに地域の子の為にさらなる活動を考える場を提供した。
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを見守る時間帯が異なるため短時間に制約される。そのため、事前の話し合いがとれず新たな活動ができにくい。 ・子どもの持ち物やボールなどの用具の置き場に困っている。また、子どもの作品の提示か所もなく残念という。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・推進委員3名、サポーター4名。ボランティアはなし。参加児童40名。 ・学校の空き教室なども利用できれば、さらに活動範囲が広まるので、学校側とも交渉したい。

市町名	菊川市
-----	-----

学校支援地域本部	
放課後子ども教室	○
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
その他（通学合宿等）	

実施年度	H27	○
	H28	○



ふれあい活動の様子

活動名	小笠北小放課後子ども教室
実施箇所名	菊川市立小笠北小学校
活動の概要・特徴 活動上の工夫	<p>平成16年度に開設され、市内では最も長く活動している教室のひとつである。</p> <p>講座形式で運営され、平成28年度は花アレンジ・クッキング・ペタボード・卓球・バドミントン・グラウンドゴルフ・ふれあい活動（室内での自由遊び）の7講座が開催された。（講座により開催回数は異なる。）</p> <p>学期ごと年3回、コーディネーターを中心に、スタッフ・学校関係者・子ども教室事務局の3者による打合せ会が開催され連携が図られている。</p> <p>2月には希望する児童を対象に、見学会が行われる。各教室をコーディネーターが案内する。実際に見ることで、活動内容を子どもたちが理解しやすく、次年度の参加希望につながっている。</p>
活動の成果	<p>長期間にわたり活動が継続され、新規開設予定の教室からスタッフが視察に訪れるなど、講座形式のモデルケースとなっている。</p> <p>保護者・児童にも広く子ども教室の存在が浸透しており、例年多くの参加希望者がある。</p>
課題等	<p>長期間同じスタッフが運営に携わり、活動が安定している一方、新規スタッフの確保、次世代育成が課題となっている。</p>
備考 (ボランティア数、参加した子どもの数等)	<p>コーディネーター1名、教育活動サポーター10名、ボランティアサポーター11名、参加児童98名。</p>

市町名	牧之原市
-----	------

学校支援地域本部	
放課後子ども教室	○
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
その他（通学合宿等）	

実施年度	H27	○
	H28	○



個別指導の様子

活動名	家庭との連絡プリント
実施箇所名	相良小学校、菅山小学校、萩間小学校、地頭方小学校、川崎小学校、細江小学校、勝間田小学校、坂部小学校、牧之原小学校、相良中学校、榛原中学校、牧之原中学校
活動の概要・特徴 活動上の工夫	学習の定着が十分でない児童に対し、教師や講師の経験者等の指導者による少人数への個別指導で、個々の課題に応じた学習支援や学習相談を実施し、各教科の基礎的、基本的な理解を進めている。 その際に、家庭との連絡プリントを活用し、保護者との連携を実現している。
活動の成果	学習の速度や定着等において十分ではないところが保護者に伝わることで、家庭との協力して、その不足を解消している。 連絡プリントにおいては、時間の使い方等のアドバイスをを行い、毎日の自己学習の習慣化に効果を得ている。
課題等	人材（指導者）の確保が最大の課題である。
備考 (ボランティア数、参加した子どもの数等)	平成27年度実績は、学習時間、参加児童・生徒の延べ数は、次のとおり。 小学校 1,372時間 6,324人 中学校 193時間 897人

市町名	吉田町
-----	-----

学校支援地域本部	
放課後子ども教室	○
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
その他（通学合宿等）	

実施年度	H27	
	H28	○



サツマイモの収穫

活動名	放課後わくわく教室（サツマイモの収穫）
実施箇所名	自彊館近くの畑
活動の概要・特徴 活動上の工夫	<p>放課後における子どもたちの安全・安心な居場所の確保や体験や交流等の活動を通して、社会性・規範意識・自主性・創造性等の豊かな人間性を育むこと、地域の子どもと大人の参画・交流による地域コミュニティの充実、地域の教育力の向上を目的に地域の方々が集まり、年間16回開催している。</p> <p>体験活動だけではなく、宿題を行うように声掛けをしているので、子どもたち同士で教え合う姿やスタッフに教えてもらっている姿も見られる。</p> <p>参加する子どもたちが、楽しく、様々な体験活動ができるように地域教育推進協議会のスタッフが年間の内容を検討している。</p> <p>写真のサツマイモの収穫だけではなく、竹ばし作りやスイートポテト作り、七夕飾り等、多種多様な活動を取り入れている。</p>
活動の成果	<p>活動を続けていることで、子どもと地域の方が顔見知りになり、登下校中にあいさつを進んで行うようになった。</p> <p>放課後教室の中で宿題を教え合う姿や他学年の子ども同士で遊ぶなど異学年交流が積極的に行われるようになった。</p>
課題等	放課後わくわく教室を運営しているが、新たなメンバーが入ることは少なく、同じメンバーで活動を実施している。そのためスタッフの高齢化が進んでいる。
備考 (ボランティア数、参加した子どもの数等)	<p>自彊わくわく教室スタッフ 25人</p> <p>年間実施回数 16回</p> <p>参加小学生総数 378人（H27年度実績）</p>

市町名	川根本町
-----	------

学校支援地域本部	
放課後子ども教室	○
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
その他（通学合宿等）	

実施年度	H27	
	H28	○



紙粘土で作品の一部を作る児童

活動名	地域ふれあいスクール
実施箇所名	中川根南部小学校
活動の概要・特徴 活動上の工夫	<p>子供が地域の方たちと共通の体験活動を通して、相互の心のふれあいを深めることを目的に、地域の大人の指導により、様々な活動を行っている。</p> <p>活動実施期間は9月～2月の毎週水曜日（休校日等除く）で、その間約20回の活動を行う。</p> <p>特色のある活動としては、「和紙のあかり展」に向けての和紙アートづくりが挙げられる。地域でちぎり絵を教えている方を講師に、和紙をメインに流木や紙粘土などを使い、皆で1つの作品を作っていく。和紙をちぎったり、色を付けたり、どのように見せるかなどの工夫を講師と共にしていく。作品を完成させ出展することで、地域の方に子ども達のことを知ってもらう機会になると共に、子供達は達成感を味わい、成果を実感できる。</p> <p>地域の方に教えてもらい制作をしていく中で、お互いの心のふれあいも深めていく事ができる。</p>
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の大人と子供がふれあう機会が確実に増えており、それに比例して心のふれあいも深まっている。コーディネーターやサポーターを学校ごとに配置しているため、その役割を持つ人は、普段と様子が違うことが分かるなど、子供達のことをよく理解できるようになっている。 ・皆で物を作り上げるという達成感を味わうことができ、また、個人ではできないことを体験することができる。
課題等	各教室によってボランティアの数が偏っていること。また、講師とその生徒以外のスタッフが作成方法などきちんとを把握し、児童に教えるのが難しい。
備考 (ボランティア数、参加した子どもの数等)	ボランティアは5～7人程度。児童は1つの教室につき10人～20人程度。

市町名	磐田市
-----	-----

学校支援地域本部	
放課後子ども教室	○
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
その他（通学合宿等）	

実施年度	H27	○
	H28	○



個に寄り添った支援

活動名	学習活動(算数)の支援
実施箇所名	磐田南小学校放課後子供教室
活動の概要・特徴 活動上の工夫	<p>磐田市の放課後子供教室は、地域の住民等の参画を得て、子どもたちが放課後を安全・安心に過ごし、学習や体験・交流活動を行うことを目的としている。学校や地域の実態やニーズに応じ、国語・算数の学習支援、ライフスキル・茶道・生け花・手話・工作・英語・将棋・栽培・運動の体験活動を放課後や土曜、日曜に行っている。</p> <p>磐田南小学校放課後子供教室は、小学校5、6年生の約20人を対象に算数の学習支援をしている。地域の教員OBの方をはじめ、地元の大学の学生たちも教育活動推進委員として参加し、子どもたちの支援にあたっている。日々の宿題や授業の復習などを中心に行い、少人数(推進委員1人に対し児童2、3人)支援が可能のため、一人ひとりのつまずきや困り感に寄り添い、丁寧な支援ができています。</p>
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の担当職員と推進委員が連絡を取り合い、活動のねらいを共有することにより、学習の質を高めることができた。 ・個別支援により、子どもたちも学習に対し満足感、達成感を得ることができ、意欲を高めることができた。 ・5月から1月にかけて18回開催することで、子どもたちを深く理解することができ、個に合った支援を行うことができた。
課題等	コーディネーターや活動推進委員、サポーターの高齢化に伴い、人員の確保がとても難しい。
備考 (ボランティア数、参加した子どもの数等)	教育活動推進委員はコーディネーターを含め15人ぐらい。(大学生10名ぐらい。大学の授業の関係で参加者人数が変更となることがある。)

市町名	袋井市
-----	-----

学校支援地域本部	
放課後子ども教室	○
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
その他（通学合宿等）	

実施年度	H27	○
	H28	○



じゃんけん列車で楽しむ児童

活動名	浅羽東小学校放課後子ども教室
実施箇所名	浅羽東小学校
活動の概要・特徴 活動上の工夫	<p>①放課後児童クラブの全児童が放課後子ども教室に参加 平成20年度から開始した浅羽東小学校放課後子ども教室は、平成22年度から放課後児童クラブの全児童が参加し活動している。参加児童は、昔の遊びなどスポーツや文化活動を通して、異学年との交流や地域住民とふれあいが図られ、放課後の居場所づくりとして楽しい時間を過ごしている。</p> <p>②地域のボランティアスタッフによる活動 コーディネーターを中心に、地域の各団体から多くの会員がボランティアスタッフとして登録している。また、活動計画の打合せ（年3回）について、スタッフ全員が意見を出し合って計画を立てている。</p> <p>③学校の協力体制 小学校の入学説明会時に、学校が放課後子ども教室の活動等について紹介し、児童の参加や保護者スタッフの募集について周知している。</p>
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> 浅羽東小学校の約1/4の児童が放課後子ども教室に参加しており、地域と学校、放課後児童クラブが連携し充実した運営体制の構築が図られている。 放課後子ども教室に関わるそれぞれの団体等が活動のねらいを共有し、児童と地域住民が関わる場として、顔見知りとなりお互いがあいさつするなど、地域コミュニティの向上につながっている。
課題等	ボランティアスタッフとして参加する保護者の確保が難しい。
備考 (ボランティア数、参加した子どもの数等)	<p>(H28年度データ)</p> <p>登録ボランティアスタッフ 34人 参加児童 81人（うち、放課後児童クラブ49人） 参加対象 全学年 活動回数 年間20回（水曜日）</p>

市町名	湖西市
-----	-----

学校支援地域本部	
放課後子ども教室	○
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
その他（通学合宿等）	

実施年度	H27	○
	H28	○



サツマイモを収穫する児童

活動名	放課後子ども教室ときわっ子 サツマイモ収穫
実施箇所名	岡崎小学校外の畑
活動の概要・特徴 活動上の工夫	放課後子ども教室ときわっ子の年間14講座のうちの3講座で児童に農業体験をさせるため、6月にサツマイモの苗を植え、10月に収穫、11月には調理実習を行う。
活動の成果	児童が農作物の育ち方を学ぶとともに、農作業を体験し、収穫の喜びを味わう。また、調理実習を行うことにより、料理の楽しさや食の大切さを味わう。
課題等	サツマイモを植えてから収穫までの畑の管理が必要なため、スタッフへの負担が大きい。
備考 (ボランティア数、参加した子どもの数等)	参加児童：70名、放課後子ども教室スタッフ：10名

市町名	森町
-----	----

学校支援地域本部	
放課後子ども教室	○
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	
その他（通学合宿等）	

実施年度	H27	○
	H28	○



宿題や雑飾り作りに取り組む児童

活動名	天方小学校放課後子ども教室
実施箇所名	天方小学校
活動の概要・特徴 活動上の工夫	放課後における子どものたちの安全、安心な居場所づくりを目的に、地域の方たちが安全管理員として放課後の子どもたちの宿題や自由遊び等の活動を見守りしている。 開催日は土日・祝日と長期休暇期間（春、夏、冬休み）、学校の特別日課を除いた毎日。 日課は、最初に宿題を済ませ、終わった子から各自外で遊んだり室内でゲームをするなどの自由活動をしている。 ※活動内容等は三倉小も同じ
活動の成果	異学年の子どもと一緒に活動することで、上級生下級生の繋がりができた。 保護者から安心して家事や仕事が出来ると感謝されている。
課題等	安全管理員の確保に苦慮している。 保護者からは5、6年生の児童の参加希望もあるが、部屋や安全管理員の確保の問題があり、希望に添えていない。
備考 (ボランティア数、参加した子どもの数等)	・コーディネーター 1人 ・安全管理員 6人 ・参加児童 29人